おしえて! SDGs



持続可能なまちづくりのために

SUSTAINABLE GOALS



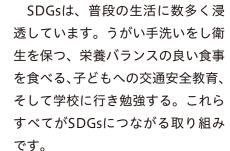












地球上の誰一人として取り残さな

い持続可能な開発目標「SDGs」。















ゴール目標3と4では何ができる のか一緒に考えてみましょう。



3 すべての人に 健康と福祉を











あらゆる年齢のすべての人々の 健康的な生活を確保し、福祉を 推進する

ゴール3のターゲットは13項目あり、その中の1つ に「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成 する | とあります。

UHCとは「すべての人が適切な健康増進、予防、治 療、機能回復に関するサービスを、支払い可能な費 用で受けられること」を意味しています。日本では 比較的身近で医療を受けることができますが、全世 界の人口の半分、約35億人が必要な治療を受けられ ず、治療を受けられたとしても毎年1億人近くが医療 費負担を原因として貧困化しているとされています。

まず現状を知り、自分にできることがないか考えて みることから始めてみませんか。

私たちにできること

- ・近所を散歩するなど体を動かす
- ・健康診断や人間ドックを受ける など

町の主要な事業との位置づけ

- ・妊産婦健診時の交通費助成、妊産婦医療費助成 事業
- ・健康寿命の延伸事業

など



4 質の高い教育を みんなに

すべての人々に包摂的かつ公平 で質の高い教育を提供し、生涯 学習の機会を促進する

ゴール4のターゲットは10項目あり、その中の1 つに「すべての学習者が持続可能な開発を促進するた めに必要な知識および技能を習得できるようにする | とあります。

子どもたちにSDGsの精神を持続させていくための 教育が必要となりますが、私たち自身が、しっかりと 社会問題に関心を持ち、多様性を高め、自分にでき ることを行動に移すということが求められています。

現在、学校だけでなく社会全体で子どもの教育を支 える活動が根付き始めています。従来の学校の授業だ けでは予測できない物事が多くなり、多種多様な学び 方が求められています。

私たちにできること

- ・図書館に行って本を読む
- ・勉強会や講習会に参加する

など

町の主要な事業との位置づけ

- ・読書活動推進事業
- ・地域と学校の連携・協働事業
- 小野高等学校連携推進事業

など